2025 年 3 月 10 日 戦略本部会議

新潟中央短期大学　中期計画
－第２期（2025 年度～2029 年度）－

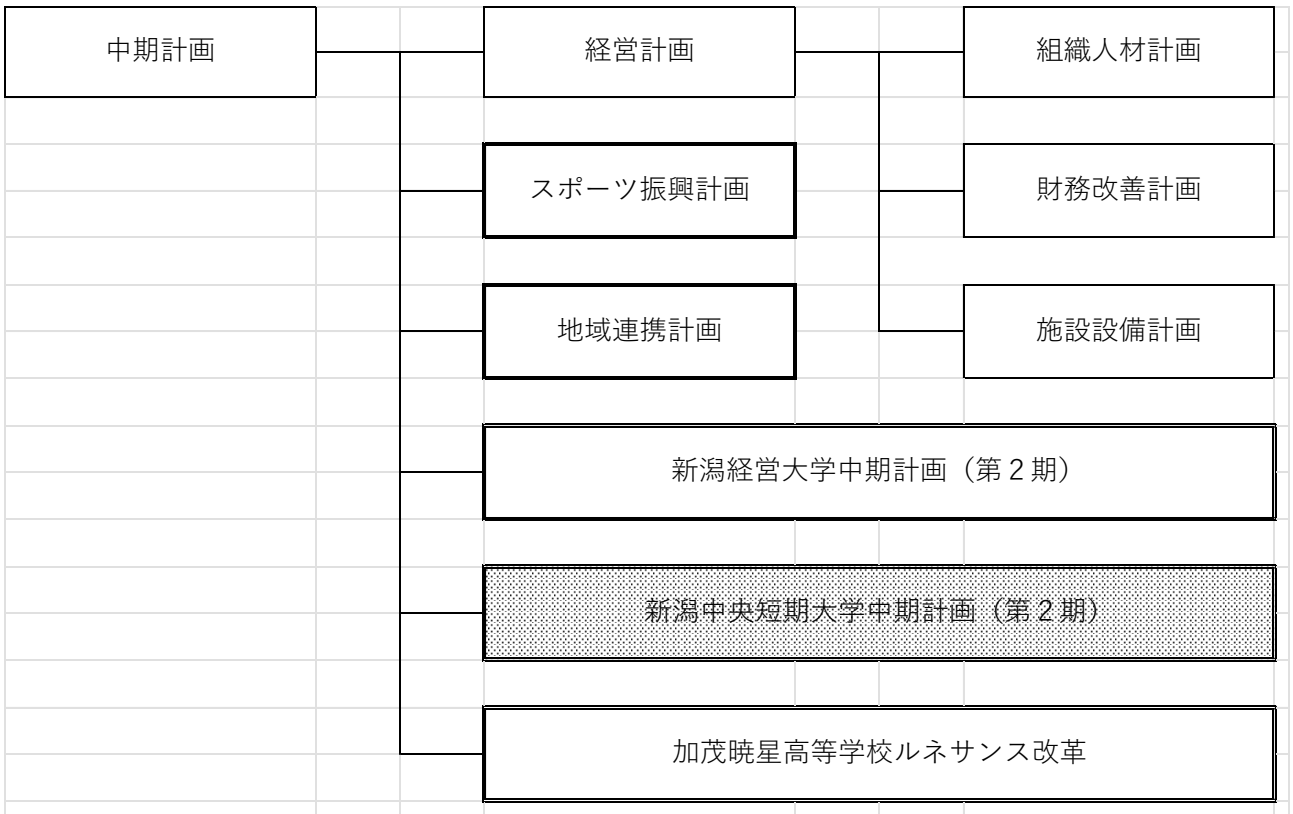
１　計画策定の目的

現行「新潟中央短期大学中期計画」は、私立学校法の規定により策定が義務づけられた中長期的な計画として、令和２年度から６年度までの５年間を計画期間としている。

第１期計画に続く計画として、令和７年度から５年間の新たな中期計画を策定することとし、教育目標など、基本的な目標については、現行計画を引き継ぐ形で策定したものである。

２　学園全体の計画体系

本計画は、学校法人加茂暁星学園の総合計画である「加茂暁星ルネサンス計画」の一部を構成するものである。



3　建学の精神

業学一如　「学は業のためにあり、業また学でなければならないのである」

（創設者　西村大串（にしむらだいかん））

【業学一如：ぎょうがくいちにょ】
本学園の創設者、西村大串は大正９年９月(1920 年)、加茂朝学校を設立。その説明会において「学は業のためにあり、業また学でなければならないのである。この朝学校なるものは、普通の学校とはその趣を異にして一心に只だ身を学問にゆだねる事のできない人たちが只だわずかなる朝の時間に読書修養を志すのである。未だ惰眠を貪っている鶏鳴四時をつぐる時、厳冬丈なす雪ふみわけて登校することは勿論困難なことには相違ない。朝学校は自ら真を求る人々の人格の修養場である。」と語り経済的、時間的に余裕のない若者に学びの機会を与えました。

4　教育目標

「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」

○主体性を持ち、多様な人々と協働して生きていく態度・力を育てる
○ミュージカル、出前保育といった実践的学びの場を重視し、創造的な体験を通じて、主体性、協働性、問題を共に解決する力を養う。
こうした本学における学びを実践に生かし、さらに、実践からも学ぶ「子どものために　子どもと共に　学びつづける保育者」を育成する

【教育・研究における重点項目】

○学生に寄り添い、学生を大切にする大学をめざし、教職員一体となった学生の育成体制の強化
○学びを実践に生かし、実践から学ぶことを推進し、現場経験を持つ実務家教員の充実
○保育現場に即した研究の推進

【地域貢献における重点項目】

○保育・幼児教育に関する地域課題を研究し、解決策を地域に提言するとともに、その成果を学生教育に反映させ、課題解決に役立つ人材を育成する。

５　新潟中央短期大学中期計画（各論）

１　計画の目標水準

【教育の質保証】

新潟中央短期大学の質保証の前提として以下の指標を計画期間内に達成する。

A　募集定員充足率	**１００%達成**
B　収容定員充足率	**１００%達成**
C　希望者就職決定率	**１００%達成**

【PDCA サイクルの確立】

新たな収入確保を図るとともに、収支構造の見直しを推進する。

D　全ての重点目標に着手し、収支バランスを達成する。（赤字ゼロ）

２　計画の体系

(1) 募集定員の確保

計画の目標水準	＜カテゴリー＞	＜重点目標＞
【教育の質保証】 新潟中央短期大学の質保証の前提として以下の指標を計画期間内に達成する。 **A 募集定員充足率** **１００%達成** **B 収容定員充足率** **１００%達成** **C 希望者就職決定率** **１００%達成**	1. 建学の精神、教育理念･目標の定着	(1)学内における理解の定着
		(2)学外への広報活動強化
	2. 内部質保証の取り組み強化	(3)自己点検･評価の活動の強化
		(4)卒業後の評価の教育への取り組み
	3. 学科教育課程の再編	(5)カリキュラムの点検と教員規模の検討
		(6)長期履修制度導入の検討
		(7)収容定員の見直し
	4. 教育目標に基づく特色ある教育プログラムの策定	(8)入学前教育、入学予定者への支援の充実
		(9)教育成果の検証による教育力の向上
	5. 学生支援の強化	(10)合理的配慮に基づく、多様化する学生への対応強化
		(11)退学率の減少
		(12)同窓会、保護者会等との連携強化
		(13)事務職員の学生支援のための行動方針の策定
	6. 学修環境の強化	(14)通学環境の改善強化
		(15)大学とあわせた学習環境の整備の強化
	7. 入学者確保の強化	(16)入試制度改革の実行
		(17)広報戦略の強化
		(18)系列校との提携
		(19)大学強化指定部と連携した入学者の確保

	8. 高大接続の強化	⑳系列校をはじめとする連携の強化
	9. 地域貢献活動の強化	㉑地域の子育て支援の拠点としての機能強化
		㉒教職員の地域社会への貢献活動強化
		㉓自治体、各種団体との協定の強化

⑵ 財政基盤の健全化

計画の目標水準	＜カテゴリー＞	＜重点目標＞
【PDCA サイクルの確立】 新たな収入確保を図るとともに、収支構造の見直しを推進する。 **D 全ての重点目標に着手し、収支バランスを達成する。（赤字ゼロ）**	⑴ 経常収入の増加	⑴外部資金の獲得
		⑵学納金の見直し
		⑶収支構造の見直し
	⑵ 経常支出の削減	⑷事務組織生産性の向上